

BOM for Windows Ver.6.0 SR2

BOM 6.0 SR2 Rollup Package 2018.10.31

リリースノート [第 2 版]

このドキュメントでは、BOM for Windows Ver.6.0 SR2 Rollup Package 2018.10.31 によって適用される脆弱性対応、仕様変更、不具合修正および、制限事項などの内容についてご案内しています。

なお本 Rollup Package には、BOM for Windows Ver.6.0 SR2 リリース以降、2018 年 10 月 30 日までに公開済みの BOM for Windows Ver.6.0 SR2 およびオプション製品に関する修正モジュール、拡張モジュールが一部(※)を除いて含まれています。

※ 「BOM Report オプション Ver.6.0 SR2 用修正モジュール」(2016 年 9 月 9 日公開)は本 Rollup Package に含まれません。

また、BOM for Windows Ver.6.0 SR2 拡張モジュール(2016 年 12 月 22 日公開)に含まれる、「BOM Report オプションの刷新」およびこれに関連するレポート用テンプレート、Report オプションデザインファイル仕様書についても、本 Rollup Package には含まれません。

■ 注意・制限事項 ■	3
1. 本 Rollup Package の適用対象	3
2. 本 Rollup Package に含まれない機能	3
3. アンインストールで削除されないファイルについて	4
4. 集中監視 Web サービスにアクセスできない OS について	4
5. Red Hat Enterprise Linux 7.1 以降のインベントリ情報取得について	4
6. プロセスリスト監視の除外プロセスの変更について	4
■ 脆弱性対応 ■	4
1. OpenSSL に関する脆弱性に対応	4
2. Apache Tomcat に関する脆弱性に対応	4
■ 機能更新/不具合修正 ■	5
1. Oracle Database 10g Release2 の iSQL*Plus Application Server がインストールされた環境でイベントログ監視に失敗する	5
2. 集中監視 Web サービスで操作時に SQL エラーが記録される	5
3. BomCsvImporter.exe が強制終了する	5
4. BOM かんたん設定ファイルで BOM をインストールすると警告イベントが多数記録される	5
5. BOM 集中監視コンソールの詳細ビュー画面で、ソートの解除が反映されない	5
6. 代理監視で「インストールソフトウェア変更監視」を実行すると失敗する場合がある	5
7. VMware システムレポートでホストの IPv6 アドレスが表示されない	5
8. BOM SNMP マネージャーサービスで受信処理が正しく行われない	5
9. パフォーマンスカウンター監視の設定で閲覧できないオブジェクトがある	5

10. プロセスリスト監視の除外プロセスリストを変更	6
11. BOM Oracle オプションに監視タイムアウトを実装	6
12. BOM SQL Server オプションに監視タイムアウトを実装	6
13. 排他制御解放処理の不具合	6
14. BomCSVImporter の-i、-s オプションが効かない	6
■ 公開済みモジュール（脆弱性対応） ■	7
1. OpenSSL 脆弱性(CVE-2016-0702)対応モジュール	7
2. OpenSSL 脆弱性(CVE-2017-3731 等)対応モジュール	7
3. BOM Helper ヘルパーサービス 修正モジュール	7
4. gSOAP 脆弱性(CVE-2017-9765)対応修正モジュール	7
5. OpenSSL 脆弱性(CVE-2017-3737, CVE-2017-3738)対応モジュール	7
6. OpenSSL 脆弱性(CVE-2018-0739)対応モジュール	7
■ 公開済みモジュール（機能拡張） ■	8
1. SNMPトラップ受信機能(V3 対応)拡張モジュール	8
2. BOM for Windows Ver.6.0 SR2 拡張モジュール	8
3. VMware オプション Ver.6.0 SR2 向け ESXi 6.5 対応アップデートモジュール	8
4. VMware オプション Ver.6.0 SR2 向け vSphere 6.7 対応アップデートモジュール	8
■ 公開済みモジュール（不具合修正） ■	9
1. SQL Server オプション Ver.6.0 SR2 向け修正モジュール	9
2. イベントログ監視(Vista,Server 2008 以降) 修正モジュール	9
3. 未アクセスファイル監視 修正モジュール	9
4. 集中監視コンソール 修正モジュール (6.0.20.4)	9
5. 集中監視コンソール 修正モジュール (6.0.20.5)	9
6. バックアップウィザード 修正モジュール	9
■ 公開済み監視テンプレート ■	10
1. ESET File Security for Microsoft Windows Server 4.5 監視テンプレート	10
2. ESET File Security for Microsoft Windows Server 6.2 監視テンプレート	10

■■ BOM for Windows Ver.6.0 更新履歴 ■■

- 2013 年 06 月 BOM for Windows Ver. 6.0 リリース
- 2014 年 02 月 BOM for Windows Ver. 6.0 SNMP トラップ受信機能 拡張モジュール リリース
- 2014 年 04 月 BOM 6.0 Rollup Package 2014. 4. 1 リリース
- 2014 年 04 月 BOM 6.0 Rollup Package 2014. 4. 15 リリース
- 2014 年 10 月 BOM for Windows Ver. 6.0 SR1 / BOM SQL Server オプション 6.0 リリース
- 2015 年 01 月 BOM for Windows Ver. 6.0 SR1 2015.01 リリース
- 2015 年 12 月 BOM for Windows Ver. 6.0 SR2 リリース
- 2016 年 12 月 BOM for Windows Ver. 6.0 SR2 拡張モジュール リリース
- 2018 年 11 月 BOM 6.0 SR2 Rollup Package 2018.10.31 リリース

■■ リリースノート改版履歴 ■■

- 2018 年 11 月 初版
 - 2019 年 7 月 第 2 版
- 本パッケージに同梱されていない以下の修正モジュールの同梱情報が記載されていたため、関連する部分を修正および削除。
- ✓ 「Linux レポートのサーバー診断結果と詳細グラフで CPU 負荷率が異なる」
 - ✓ 「アーカイブデータ送信(カスタムアクション)がエラーコード 0xFFFFFEE で失敗する」
 - ✓ 「BOM Report オプション Ver.6.0 SR2 用修正モジュール」

■■ 製品表記 ■■

本リリースノートでは、以下の製品について略称を使用しています。

正式名称	本リリースノートでの呼称(略称)
BOM for Windows Ver.6.0	BOM 6.0
BOM for Windows Ver.6.0 SR2	BOM 6.0 SR2
BOM 6.0 SR2 Rollup Package 2018.10.31	本 Rollup Package

■■ 注意・制限事項 ■■

1.本 Rollup Package の適用対象

- 本 Rollup Package は、Windows Server 2008、Windows Vista 以降の OS を対象としています。
- 以下の OS には本 Rollup Package が適用できません。
 - Windows Server 2003
 - Windows Server 2003 R2
 - Windows XP

2.本 Rollup Package に含まれない機能

- 「BOM for Windows Ver. 6.0 SR2 拡張モジュール」(2016 年 12 月 22 日 Web 公開)に含まれる、新しい BOM Report オプションおよびこれに関連するレポート用テンプレート、Report オプションデザインファイル仕様書は、本 Rollup Package に含まれません。
- 既に当拡張モジュールが適用されている場合は、継続して新しい BOM Report オプションが使用できます。
- 本 Rollup Package の適用後に新しい BOM Report オプションを使用する場合は、弊社 Web サイトから「BOM for Windows Ver. 6.0 SR2 拡張モジュール」をダウンロード、および適用した後で、再度本 Rollup Package を適用してください。

3. アンインストールで削除されないファイルについて

- 「BOM for Windows Ver. 6.0 SR2 拡張モジュール」(2016 年 12 月 22 日公開)を適用している場合、BOM 6.0 SR2 をアンインストールしても BOM Report オプションのファイル、デスクトップショートカットが削除されません。
これらのファイルは手動で削除してください。

4. 集中監視 Web サービスにアクセスできない OS について

- 本 Rollup Package の適用後、集中監視 Web サービスはセキュリティ強化の為に、より暗号化強度が高い証明書を使用します。以下の OS はこの暗号化に対応していない為、集中監視 Web サービスへアクセスできなくなります。
 - Windows Server 2003
 - Windows Server 2003 R2
 - Windows XP

5. Red Hat Enterprise Linux 7.1 以降のインベントリ情報取得について

- Red Hat Enterprise Linux 7.1 以降では、インベントリ情報を取得しレポートに反映させるため、別途 OpenLMI (tog-pegasus, openlmi-tools パッケージ)をインストールする必要があります。
また、Linux 監視インスタンスが作成済みの場合は、モニタレットの更新が必要です。

6. プロセスリスト監視の除外プロセスの変更について

- プロセスリスト監視のホワイトプロセス監視について、既定で除外されるプロセスが変更されることに伴い、既定の除外リスト(MxProcListMon.ini)が編集されている場合も、本 Rollup Package の適用後は新しい既定値の内容で初期化されます。
※ 除外プロセスの具体的な変更内容については「機能/不具合修正」欄を確認してください。

■■ 脆弱性対応 ■■

1. OpenSSL に関する脆弱性に対応

- OpenSSL のバージョンを OpenSSL 1.0.2p に更新し、以下の脆弱性に対応しました。
 - [CVE-2018-0737]
OpenSSL の RSA 鍵生成アルゴリズムにおけるキャッシュタイミングサイドチャネル攻撃を実行される脆弱性
 - [CVE-2018-0732]
OpenSSL におけるサービス運用妨害 (DoS) の脆弱性

2. Apache Tomcat に関する脆弱性に対応

- 集中監視 Web サービスで使用する Apache Tomcat のバージョンを Apache Tomcat 9.0.12 に更新し、以下の脆弱性に対応しました。
 - [CVE-2014-3566 (POODLE)]
OpenSSL およびその他の製品で使用する SSL プロトコルにおける平文データを取得される脆弱性
- ※ただし、BOM 6.0 SR2 では TLS1.0 よりも脆弱な通信 (SSL3.0 等) を使用できないようにしているため、本 Rollup Package 公開時点で CVE-2014-3566 (POODLE) の影響はありません。
[CVE-2018-11784]
不正な URL によりオープンリダイレクト問題が発生する脆弱性

■■ 機能更新/不具合修正 ■■

1.Oracle Database 10g Release2 の iSQL*Plus Application Server がインストールされた環境でイベントログ監視に失敗する

- Windows Server 2008 に Oracle Database 10g Release2 の iSQL*Plus Application Server をインストールした環境で、当アプリケーションのサービス(既定の名称は「OracleOraDb10g_home1iSQL*Plus」)をイベントログ監視の対象にすると、監視に失敗する件に対応しました。

2.集中監視 Web サービスで操作時に SQL エラーが記録される

- BOM 集中監視 Web サービスでインスタンスステータスログの確認結果を「種別:情報」としてローカルのデータベースに格納する際、メッセージ設定ファイルに不備があり、メッセージが取得できずに SQL のエラーが記録される件に対応しました。

3.BomCsvImporter.exe が強制終了する

- 処理対象となる ZIP ファイルの件数が 17,000 件以上存在すると、BomCsvImporter.exe が強制終了する件に対応しました。

4.BOM かんたん設定ファイルで BOM をインストールすると警告イベントが多数記録される

- BOM かんたん設定ファイルで BOM をインストールすると、以下の警告イベントがイベントログに多数記述される件に対応するため、イベントログ出力オプションを修正しました。
「製品: BOM for Windows Ver. 6.0 SR2。保護されている Windows のレジストリ キー (レジストリパス) が、アプリケーションにより変更されようとしていました。」

5.BOM 集中監視コンソールの詳細ビュー画面で、ソートの解除が反映されない

- BOM 集中監視コンソールのステータスログなどの一覧表示において、任意のカラムに設定されたソート条件を解除しても、画面の更新後にソート解除の設定が反映されない場合がある件に対応しました。

6.代理監視で「インストールソフトウェア変更監視」を実行すると失敗する場合がある

- Windows OS の「プログラムと機能」の画面に表示されるアプリケーションを全くインストールしていない環境を代理監視先にした場合、「インストールソフトウェア変更監視」を実行すると失敗する件に対応しました。

7.VMware システムレポートでホストの IPv6 アドレスが表示されない

- BOM VMware オプションのレポートについて、「システム情報」レポートで IPv6 のアドレスが表示されない件に対応しました。

8.BOM SNMP マネージャーサービスで受信処理が正しく行われない

- BOM が使用する Net-SNMP の初期化処理に問題があり、バージョン 1709 の更新が適用された Windows 10 のコンピューターで、BOM SNMP マネージャーサービスを使用して SNMP Trap を受信すると、CPU 使用率が 100%になる場合がある件に対応しました。

9.パフォーマンスカウンター監視の設定で閲覧できないオブジェクトがある

- パフォーマンスカウンター監視において下記すべてに該当する場合、オブジェクトをレジストリから取得する際に、代理監視先のレジストリではなくローカルのレジストリにアクセスしてしまい、閲覧ができない件に対応しました。
 - 代理監視
 - オブジェクトが Win32 API「PdhLookupPerfIndexByName」で取得できない
 - オブジェクトがローカルに存在しない

10.プロセスリスト監視の除外プロセスリストを変更

- プロセスリスト監視のホワイトプロセス監視について、既定で除外されるプロセスを以下の内容で変更しました。
 - 除外対象として追加されるプロセス
BomFindFiles
BomQfeList
BomSNMPUsmEncrypt
 - 除外対象から外されるプロセス
snmptrap

11.BOM Oracle オプションに監視タイムアウトを実装

- BOM Oracle オプションの監視について、OLEDB 接続に監視タイムアウトを実装しました。

12.BOM SQL Server オプションに監視タイムアウトを実装

- BOM SQL Server オプションの監視について、ODBC 接続に監視タイムアウトを実装しました。

13.排他制御解放処理の不具合

- Release メソッドにおいて、本来 Mutex のみを解放するべきところで Mutex の HANDLE まで Close し、なおかつ NULL まで設定していることが原因で、GetOwner メソッドの HANDLE チェック処理で「排他ロックの取得に失敗しました。」とのエラーが発生する件に対応しました。

14.BomCSVImporter の-i、-s オプションが効かない

- BomCSVImporter.exe で、“-i”オプション(標準出力に処理ログを表示しない)および“-s”オプション(時系列を無視して古いデータをインポートするが、同時刻に同内容のログが複数存在した場合は1つしかインポートされない)を指定しても効果がない不具合に対応しました。

■■ 公開済みモジュール（脆弱性対応） ■■

下記は、弊社 Web サイトなどで公開済みの脆弱性対応モジュールです。

本 Rollup Package にはこれらの内容が含まれており、通常は別途個別にモジュールを適用する必要はありません。また、以下いずれかのモジュールを適用済みの環境に本 Rollup Package を適用した場合、未適用のモジュールを自動で判断し、必要なモジュールが適用された状態となる様インストールが実行されます。

1.OpenSSL 脆弱性(CVE-2016-0702)対応モジュール

公開日:2016 年 3 月 30 日

- OpenSSL のバージョンを OpenSSL 1.0.2g に更新し、CVE-2016-0702 に対応しました。

2.OpenSSL 脆弱性(CVE-2017-3731 等)対応モジュール

公開日:2017 年 5 月 31 日

- OpenSSL のバージョンを OpenSSL 1.0.2k に更新し、CVE-2017-3731, CVE-2015-2808, CVE-2016-0702, CVE-2016-2183 に対応しました。
- TLS 1.1 および 1.2 に対応しました。

3.BOM Helper ヘルパーサービス 修正モジュール

公開日:2017 年 9 月 5 日

- 「ssllscan」等の SSL チェックツールでセキュリティ脆弱性チェックを実施した際、「SSL Certificate」がエラー状態となることに対応するため、BOM Helper サービスが使用するサーバー証明書を更新しました。

4.gSOAP 脆弱性(CVE-2017-9765)対応修正モジュール

公開日:2018 年 1 月 30 日

- gSOAP のバージョンを gSOAP 2.8.54 に更新し、CVE-2017-9765 に対応しました。

5.OpenSSL 脆弱性(CVE-2017-3737, CVE-2017-3738)対応モジュール

公開日:2018 年 2 月 1 日

- OpenSSL のバージョンを OpenSSL 1.0.2n に更新し、CVE-2017-3737, CVE-2017-3738 に対応しました。

6.OpenSSL 脆弱性(CVE-2018-0739)対応モジュール

公開日:2018 年 4 月 18 日

- OpenSSL のバージョンを OpenSSL 1.0.2o に更新し、CVE-2018-0739 に対応しました。

■■ 公開済みモジュール（機能拡張） ■■

下記は弊社 Web サイトなどで公開済みの機能拡張モジュールです。

一部を除き、本 Rollup Package にはこれらの内容が含まれており、通常は別途個別にモジュールを適用する必要はありません。また、以下いずれかのモジュールを適用済みの環境に本 Rollup Package を適用した場合、未適用のモジュールを自動で判断し、必要なモジュールが適用された状態となる様インストールが実行されます。

1.SNMPトラップ受信機能(V3 対応) 拡張モジュール

公開日:2016 年 7 月 6 日

※当機能拡張で追加された機能の詳細および使用方法は、本 Rollup Package 同梱の「BOMW6.0-SNMPトラップ受信機能ユーザーズマニュアル.pdf」を参照してください。

- SNMP V3 に対応しました。
- BOM SNMP サービス開始時のみ、対象機器に対して snmpget を実施する様に対応しました。
- 受信したトラップおよび、Get 取得した情報をイベントログに書き込む際に、ユーザー側でイベントレベルを指定することが可能になりました。
- 受信したトラップおよび、Get 取得した情報について、イベントログへ「書き込む」「書き込まない」のフィルター機能を追加しました。
- BOM SNMP トラップ受信機能監視テンプレートを追加しました。

2.BOM for Windows Ver.6.0 SR2 拡張モジュール

公開日:2016 年 12 月 22 日

※当拡張モジュールの公開時に同梱していた、新しい BOM Report オプションおよびこれに関連するテンプレートは本 Rollup Package に含まれません。

※当拡張モジュールで追加された機能の詳細および使用方法は、本 Rollup Package 同梱の「BOMW6.0SR2-ファイルサーバー監視ユーザーズマニュアル.pdf」を参照してください。

- ファイルサーバー監視として、以下の 3 点の監視を追加しました。
 - 重複ファイル監視
 - 未アクセスファイル監視
 - Windows Update 監視
- ファイルサーバー監視結果を確認する専用のビューアーを用意しました。
- ファイルサーバー監視テンプレートを追加しました。

3.VMware オプション Ver.6.0 SR2 向け ESXi 6.5 対応アップデートモジュール

公開日:2017 年 7 月 14 日

- BOM VMware オプション Ver. 6.0 の「VMware イベント監視」で、VMware vCenter 6.5 におけるイベントログの表示順序に対応し、動作環境として VMware ESXi 6.5 を追加しました。

4.VMware オプション Ver.6.0 SR2 向け vSphere 6.7 対応アップデートモジュール

公開日:2018 年 7 月 11 日

- 新規追加されたパフォーマンスカウンターに対応し、BOM VMware オプション Ver. 6.0 の動作環境として VMware vSphere 6.7 を追加しました。

■■ 公開済みモジュール（不具合修正） ■■

下記は弊社 Web サイトなどで公開済みの不具合修正モジュールです。

本 Rollup Package にはこれらの内容が含まれており、通常は別途個別にモジュールを適用する必要はありません。また、以下いずれかのモジュールを適用済みの環境に本 Rollup Package を適用した場合、未適用のモジュールを自動で判断し、必要なモジュールが適用された状態となる様インストールが実行されます。

1. SQL Server オプション Ver.6.0 SR2 向け修正モジュール

公開日:2016 年 7 月 1 日

- Microsoft SQL Server の照合順序が Japanese_CS (大文字・小文字の判定を行う) に設定されていた場合、BOM 側でデータベース一覧の取得が正常に行えないことに対応するため、内部ロジックを変更しました。

2. イベントログ監視 (Vista, Server 2008 以降) 修正モジュール

公開日:2017 年 2 月 24 日

- 「イベントログ監視 (Vista, Server 2008 以降)」で使用しているモジュール「MxEvtlogmon.exe」で監視対象のソース/チャンネル情報を取得する際、取得した文字数が 32768 文字を超えるとアプリケーションクラッシュが発生する件について、プログラム内部での処理内容を一部修正しました。

3. 未アクセスファイル監視 修正モジュール

公開日:2017 年 7 月 28 日

- 監視対象のファイルにおいて、現在日時から 6 か月前の日時と同じ年の未アクセスファイルが存在していた場合正常に検知できない件を修正しました。

4. 集中監視コンソール 修正モジュール (6.0.20.4)

公開日:2017 年 12 月 25 日

- 集中監視 Web サービスが監視インスタンスにポーリングする際は、データベース更新で不整合が生じないように排他処理を行います。既に別スレッドが初期化処理を実施しているタイミングで同時に複数のスレッドが排他コンポーネントを初期化しようすると、Null Pointer Exception が発生してデータベースが正常に更新できず、集中監視コンソール上で監視インスタンスが「監視サービスが停止中」と認識される不具合に対応するため、ポーリングを行うスレッド間で初期化処理が排他で行われるよう修正しました。

5. 集中監視コンソール 修正モジュール (6.0.20.5)

公開日:2018 年 4 月 13 日

- 集中監視 Web サービスが監視対象のインスタンスへポーリングを実行した際、監視インスタンスのサービス状態取得に失敗してもポーリングフラグが OFF にならず、それ以降のポーリングが実行されなくなる不具合に対応するため、監視インスタンスのサービス状態取得に失敗した際にポーリング実行フラグを OFF にするよう修正しました。

6. バックアップウィザード 修正モジュール

公開日:2018 年 7 月 31 日

- BOM 6.0 コントロールパネルの「ツール」タブにある「バックアップ」について、「インスタンスのパスワードと SMTP, SNMP, オプション製品のパスワードを削除」にチェックを入れてバックアップを取得すると、取得したバックアップファイルに含まれるパスワード情報は削除されず、バックアップ元の BOM 上に設定されているパスワードが削除される件に対応しました。上記の「パスワード」には、代理監視、Linux、VMware、Citrix、Oracle、SQL の各監視インスタンスに設定されたパスワードと、SMTP、SNMP のパスワードが含まれます。

■■ 公開済み監視テンプレート ■■

下記は弊社 Web サイトなどで公開済みの監視テンプレートです。

本 Rollup Package はこれらを含んでいますので、別途個別に監視テンプレートを追加する必要はありません。また、以下いずれかの監視テンプレートが追加された環境に本 Rollup Package を適用した場合、未追加のテンプレートを追加し、すべてのテンプレートが追加された状態となる様インストールが実行されます。

※機能拡張モジュールに同梱して公開されたテンプレートについては「公開済みモジュール」欄を確認してください。

※各監視テンプレートの詳細は、「テンプレートのインポート」画面で確認してください。

1.ESET File Security for Microsoft Windows Server 4.5 監視テンプレート

公開日:2016 年 6 月 8 日

- BOM 6.0 で、ESET File Security for Microsoft Windows Server 4.5 のサービス監視の設定支援を行うためのテンプレートです。

2.ESET File Security for Microsoft Windows Server 6.2 監視テンプレート

公開日:2016 年 6 月 8 日

- BOM 6.0 で、ESET File Security for Microsoft Windows Server 6.2 のサービス監視の設定支援を行うためのテンプレートです。